日塗工 整理№.		2016-02	労働災害状況調査表		
発生会社	事業所				
災害発生場所		粉体試作室溶剤洗浄ブース			
災害発生日] 時	2015年 7月27日(火) 16時45分 天候(晴れ) 温度(29.5℃)湿度(72%)			
災害区分		不休災害 休業災害 (休業:△日)			
被	部門	技術部		雇用形態 正社員 (派遣、契約、その他()	
災	年齢	41歳	性別:(男)女	勤続年数 2週間 経験年数 2週間	
者	傷病名	病名(右則			
	傷病部位	右眼			
			要後、溶剤洗浄ブースにて	状況概略(写真orイラスト)	
災	部品を刷ま	E洗浄してい 7			
-			・・ ったピットに部品を沈めたと		
#					
害	下に沈んでいたプロペラ部品に当たり衝撃で 溶剤が跳ねて右眼に飛散した。				
発					
7L	被災時、保護メガネは未着用であった。 (作業終了直前で気が緩んでいた)				
生.	病院へ行き診断を受けた結果、眼球粘膜の				
工	病院へ行き診断を受けた結果、眼球粘膜の 				
状	災犯 (の) /)/c。	,		
1/\					
>□			,	溶剤(MEK) 部品	
況				*部品を溶剤に沈めた際に溶剤が跳ね右目	
!				にかかってる	
!	災害の型*	×1) 7		Commence of the Commence of th	
!				作業の形態:定営、非定常、その他() 特記事項	
占	起因物: 洗浄溶剤 特記事項 特記事項				
原田田		区(man) 配属後、2週間程の経験で未熟であった。 する要因(machine) 保護眼鏡を着用していなかった。			
			.chine) 保護版現で有用し	,ていてかって。 	
	3.環境要因		ハーク・ワム マ をゅう川 (オークラ		
類			ement)危険予知訓練の不		
.f. t.			い、OJTによる教育を実施		
対	・作業手順、保護具について再度安全教育を行う。				
hoka					
策					
		兼分類 ^{※2)} : 1−6、2−4			
	類似箇所の	類似箇所の摘出:			
備					
考					
'					